

海老名市立海西中学校 学校運営協議会 議事録
(令和5年度 第1回)

- 1 日時 令和5年5月23日(火) 10:00~12:00
- 2 場所 海老名市立海西中学校 会議室
- 3 出席委員 吉川典章委員長、内藤奈美恵副委員長、加来功委員、萩谷晃子委員、
鍵渡香代子委員、遠藤一義委員、別府裕二委員、盛智史委員

4 会議の内容

(1) 学校長挨拶 自己紹介

(2) 授業参観

授業参観の感想として、以前参観した時と同様に落ち着いて授業に取り組んでいる生徒が多い。

(3) 令和5年度学校教育目標・グランドデザイン等

校長：学校教育目標は、小中一貫で9年間を見通した目標である。教育活動は令和4年度を踏襲し、海老名市の教育大綱、えびなっ子しあわせプランをもとに学校で設定している。

(4) 令和5年度学校運営協議会実施計画

校長：生徒の実態や地域の特色、目指す姿の確認。協議事項として、地域人材を活用した学習活動等のサポートや学区内異校種交流の充実、50周年を迎えて、51年目からの新たな海西中学校の取り組みの検討を行っていくことを確認。

(5) 学区内異校種交流の充実について

加来委員：高校として、中学生が参加する体験授業は継続していく。教えることで高校側の生徒の教育効果も大きく上がっていく。また、体験授業ではなく農業として職場体験学習の受け入れも可能である。

萩谷委員：支援学校として、居住地交流や初任者研修他校種訪問の実施は継続する。今後は、お互いが学びあえる交流を進めていきたい。

鍵渡委員：幼稚園として、職場体験学習の実施は可能。昨年度実施した、園児と中学3年生の交流体験は、園児と幼稚園からは好評だった。中学生が家庭科の保育の授業で作成したおもちゃで園児との交流体験は継続してほしい。

校長：小学校とは、授業公開、その後の懇談会の実施。研究授業への参加。

内藤委員：小学校のサマースクールで中学生ボランティアの参加が可能か検討してほしい。小学生にとって中学生から学べることは多くあるので交流を広げていきたい。

異校種交流は、教えることによってお互いの学びになることが多いので可能であればいろいろな交流を実施できるよう計画していく。

(6) その他

次回の学校運営協議会は、10月30日（月）に開催予定。